

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 13 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県上越市木田2丁目8番46号

氏名 株式会社 エコスタッフ  
代表取締役社長 藤井 映規

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-522-6613

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 エコスタッフ
事業場の所在地	新潟県上越市木田2丁目8番46号
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

## 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	0796 はつり・解体工事 8821 産業廃棄物収集運搬業
②事業の規模	285,912千円
③従業員数	22人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 廃プラスチック類 再生処理業者へ委託(破砕) → 原料として再資源化 処理業者へ委託(破砕) → 管理型のみ埋立処分</li><li>・ 紙くず 再生処理業者へ委託(破砕) → 売却 処理業者へ委託(破砕) → 埋立処分</li><li>・ 木くず 再生処理業者へ委託(破砕) → 木材チップとして再資源化</li><li>・ 繊維くず 処理業者へ委託(破砕) → 埋立処分</li><li>・ 金属くず 鉄・非鉄に分別(破砕) → 商社へ売却</li><li>・ コンクリートがら 再生処理業者へ委託(破砕) → 再生砕石として再資源化</li><li>・ アスコンがら 再生処理業者へ委託(破砕) → 再生砕石として再資源化</li></ul>

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2参照

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・COくず及び陶磁器くず	がれき類	安定型混合廃棄物
	排出量	53.32 t	7.02 t	1,339.68 t	25.92 t	88.93 t	287.52 t	5,366.38 t	5.37 t
②計画	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯	廃油	汚泥			
	排出量	26.26 t	19.47 t	0.00 t	0.99 t	2.64 t			

(これまでに実施した取組)

分別解体・選別の実施により、混合くずの発生を抑制。

【目標】									
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・COくず及び陶磁器くず	がれき類	安定型混合廃棄物
	排出量	88.00 t	11.00 t	1,980.00 t	55.00 t	22.00 t	440.00 t	6,600.00 t	5.50 t
②計画	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯	廃油	汚泥			
	排出量	5.50 t	22.00 t	0.11 t	5.50 t	0.00 t			

(今後実施する予定の計画)

上記同様。

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	全品目において、混合くずを出さないように分別し搬出。								

②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	上記同様。								

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・COくず及 その他	がれき類	安定型 混合廃棄物
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型 混合廃棄物	石綿含有 産業廃棄物	蛍光灯	廃油	汚泥			
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・COくず及 その他	がれき類	安定型 混合廃棄物
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型 混合廃棄物	石綿含有 産業廃棄物	蛍光灯	廃油	汚泥			
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（6年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・COくず及 その他	がれき類	安定型 混合廃棄物
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型 混合廃棄物	石綿含有 産業廃棄物	蛍光灯	廃油	汚泥			
自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・COくず及 その他	がれき類	安定型 混合廃棄物
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	管理型 混合廃棄物	石綿含有 産業廃棄物	蛍光灯	廃油	汚泥			
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

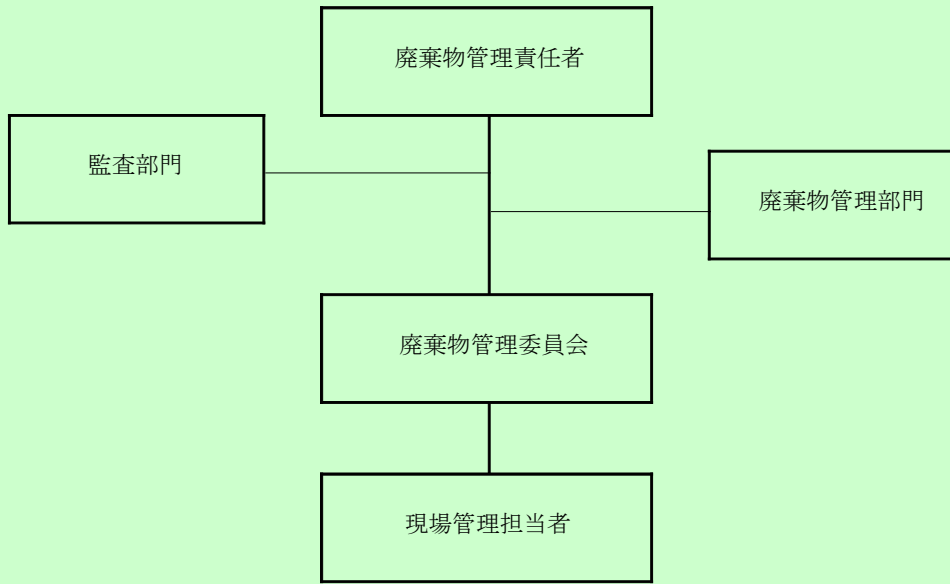
①現状		【前年度（6年度）実績】								
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・COくず及び陶磁器くず	がれき類	安定型混合廃棄物		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯	廃油	汚泥					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)										
特に実施していない。										
②計画		【目標】								
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・COくず及び陶磁器くず	がれき類	安定型混合廃棄物		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯	廃油	汚泥					
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)										
実施予定なし。										

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状		【前年度（6年度）実績】								
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・COくず及び陶磁器くず	がれき類	安定型混合廃棄物		
全処理委託量	53.32 t	7.02 t	1,339.68 t	25.92 t	88.93 t	287.52 t	5,366.38 t	5.37 t		
優良認定処理業者への処理委託量	12.64 t	t	0.35 t	t	1.36 t	95.39 t	35.32 t	1.06 t		
再生利用業者への処理委託量	t	0.55 t	1,339.68 t	t	88.93 t	t	5,198.62 t	t		
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t		
産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物	蛍光灯	廃油	汚泥					
全処理委託量	26.26 t	19.47 t	0.00 t	0.99 t	2.64 t	t	t	t		
優良認定処理業者への処理委託量	t	19.47 t	t	t	t	t	t	t		
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t		
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	t		
(これまでに実施した取組)										
委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施するとともに、施設の定期的な調査・点検を実施。										

⑨ 計画	【目標】											
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラスくず・COくず及 その他破片くず	がれき類	安定型 混合廃棄物			
	全処理委託量	88.00 t	11.00 t	1,980.00 t	55.00 t	22.00 t	440.00 t	6,600.00 t	5.50 t			
	優良認定処理業者 への処理委託量	30.00 t	3.00 t				145.00 t	30.00 t	1.80 t			
	再生利用業者 への処理委託量		0.50 t	1,980.00 t		22.00 t		5,780.00 t				
	認定熱回収業者 への処理委託量											
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量											
	産業廃棄物の種類	管理型 混合廃棄物	石綿含有 産業廃棄物	蛍光灯	廃油	汚泥						
	全処理委託量	5.50 t	22.00 t	0.11 t	5.50 t	0.00 t						
	優良認定処理業者 への処理委託量	1.80 t	22.00 t	0.11 t								
	再生利用業者 への処理委託量			0.11 t								
	認定熱回収業者 への処理委託量											
	認定熱回収業者 以外の熱回収を行う 業者への処理委託量											
(今後実施する予定の取組)												
※事務処理欄												

- その他がれき類  
処理業者へ委託（破碎） → 埋立処分
- ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず  
処理業者へ委託（破碎） → 埋立処分



	役 割
現場管理責任者	管理方針の策定
	問題発生時の対外的窓口の代表
	適正処理推進に必要な予算の承認
廃棄物管理部門	廃棄物管理に関するルール策定
	廃棄物処理法を中心とする廃棄物関連法規制情報の収集と社内伝達
	廃棄物処理業者への現地確認
	処理委託契約書・マニフェスト内容のコンプライアンスチェック
	現場管理担当者・従業員等への教育
	問題発生時の実務的対応窓口
	委員会の事務局
	処理・リサイクル状況の情報集約
廃棄物管理委員会	廃棄物管理に関する規定・マニュアル類の審議・決定
	現場からの改善提案の審議・決定
	部門をまたがる懸案事項への対応方法の審議・決定
監査部門	規定・マニュアル通りに運用されているか、コンプライアンス違反のリスクが無いか監査
	廃棄物処理
現場管理担当者	分別の徹底
	積替・保管置場の管理
	廃棄物処理業者の評価・選定
	処理委託契約書の作成・管理
	マニフェストの交付・管理